

広島市家族介護教室事業について

1 概要

高齢者を介護している家族等が、介護に関する知識や技術、介護者の健康管理等について学ぶための介護教室を開催する。

また、高齢者を介護している家族の心身のリフレッシュと介護者相互の交流を図るため、レクリエーションや施設見学等を交えた家族介護者交流会を行う。

2 対象者

市内に住所を有する高齢者を現に介護している当該高齢者の家族で、市内に住所を有する者。ただし、家族介護教室については、必要に応じて高齢者を介護している者を支援する近隣援助者を対象者とすることができる。

3 内容

(1) 家族介護教室（各区原則年間5回以上）

- ・ 高齢者の介護に関する知識や技術の習得（実技や実習）
- ・ 要介護状態の悪化防止
- ・ 介護者の健康管理
- ・ 高齢者の介護に関する制度、サービスの利用等

(2) 家族介護者交流会（日帰りの旅行等を通じて実施）（各区原則年間1回）

- ・ 介護者相互の交流及び情報交換
- ・ 介護方法に関する相談・指導
- ・ 介護者の心身の元気回復（リフレッシュ）等

※ (1)及び(2)ともに「高齢者いきいき活動ポイント事業」のポイント付与の対象

4 実施場所

介護保険施設、公民館等とする。公民館等の開館状況、予約状況については直接会場に問合せをすること。なお、公民館を使用する場合は、必ず開催施設から当該公民館に日程調整に係る事前連絡を行うこと。

※ 公民館使用のキャンセル・再調整の際は、広島市高齢福祉課に連絡し、日程の再調整後は、再度使用申請書を同課に提出すること。

5 費用

家族介護教室：無料

家族介護者交流会：参加費1,000円

6 新型コロナウイルス感染症等に関する対応

別紙「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更後の基本的な感染対策の考え方について」に基づく対策のほか、必要に応じた感染防止策を講じた上で開催すること。

なお、新型コロナウイルス感染症等のまん延状況により開催予定日に実施できない場合は、延期又は中止とする。計画どおり教室を開催できないものの、事務費（消耗品費・通信費等）及び人件費が発生した場合は、費用の計上を認める。

その他、判断に迷う場合は、その都度協議の上、決定することとする。

7 株式会社良品計画による「出張まちの保健室」の活用について

令和6年度から、広島市家族介護教室事業において株式会社良品計画が設置する「出張まちの保健室」の実施する講座を利用できることとなった（ただし、家族介護者交流会は除く）。

以下の表に記載している実施内容が無償で利用するため、実施計画を作成する際は以下の表を参考に、積極的に活用していただきたい。

【出張まちの保健室・講座リスト】

担当店舗	実施内容	担当
広島アルパーク	介護におけるお薬相談会	薬剤師
広島アルパーク	介護における薬管理講座	薬剤師
広島アルパーク	漢方講座	薬剤師
広島アルパーク	ヨガ講座	登録販売者 (ヨガインストラクター)
広島アルパーク	高齢者のフレイル予防講座	管理栄養士
広島アルパーク	骨粗鬆症予防の食事	管理栄養士
広島アルパーク	チェアヨガ講座	理学療法士
広島アルパーク	魔法の質問（自分に対して問う講座）	看護師
ゆめテラス祇園	チェアヨガストレッチ教室	理学療法士
ゆめテラス祇園	ストレートネック改善教室	理学療法士
ゆめテラス祇園	ポッコリおなか改善教室	理学療法士
ゆめテラス祇園	薬膳講座	管理栄養士
ゆめテラス祇園	腸活講座	管理栄養士
ゆめテラス祇園	口腔フレイル予防教室	看護師
ゆめテラス祇園	高齢者のフレイル予防教室	看護師
ゆめテラス祇園	血液検査のこれってなあに？	臨床検査技師

※ 原則、中区・南区・西区・佐伯区の施設は広島アルパーク店、東区・安佐南区・安佐北区・安芸区の施設はゆめテラス祇園店が担当店舗となる。ただし、担当店舗以外のメニューを利用したい場合は、そのメニューを実施する店舗の担当者に直接相談すること。

【株式会社良品計画の担当者連絡先】

（広島アルパーク店）小笠原氏 TEL：080-7425-5704 E-mail：ohiroyuk@muji.co.jp
（ゆめテラス祇園店）大山氏 TEL：080-7173-4098 E-mail：takashio@muji.co.jp

8 添付資料

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 広島市家族介護教室事業の実施手順 | 【資料1】 |
| (2) 公民館使用承認申請書（事務連絡票） | 【資料2】 |
| (3) 仕様書 | 【資料3】 |
| (4) 広島市家族介護教室事業実施要綱 | 【資料4】 |
| (5) 家族介護教室・交流会実施状況 | 【資料5】 |
| (6) 家族介護教室・交流会参加者アンケート結果 | 【資料6】 |
| (7) 公民館への協力依頼（写） | 【資料7】 |
| (8) 各区地域支えあい課担当者一覧 | 【資料8】 |

広島市家族介護教室事業の実施手順

1 実施手順

区 分	内 容	
1 事前準備	(1) 事前協議	各区内の施設と各区地域支えあい課において、開催テーマ、日程等について協議 (協議日等の調整は、老施連の各区施設担当者から各区地域支えあい課に連絡して行ってください。)
	(2) 家族介護教室の実施計画書作成	区ごとに家族介護教室の年間実施計画書を作成 (1)の協議内容等を踏まえた年間実施計画書を作成し、老施連事務局を經由して高齢福祉課に提出してください。)
	(3) 家族介護者交流会の実施計画書作成	区ごとに家族介護者交流会の実実施計画書作成 (老施連事務局を經由し実施日の30日前までに高齢福祉課に提出してください。)
2 事業開始	(1) 広報	家族介護教室・家族介護者交流会の開催案内(チラシ)作成 (実施日のおおむね30日前までに各区地域支えあい課及び区内の地域包括支援センターに送付してください。チラシはそれぞれの窓口に置きます。) ※ イラストの著作権に留意(P.2参照) [参考: 広島市が実施する広報] ○ 各回の開催 ・ 広報紙「市民と市政(区版)」に掲載(区地域支えあい課)※ 紙面の関係上掲載できない場合があります。 ○ 年間開催予定 ・ 広島市ホームページに掲載(高齢福祉課) ・ 年間の開催予定を掲載したチラシを、区地域支えあい課、地域包括支援センター、公民館、区社会福祉協議会に設置(高齢福祉課) ・ 各区の「認知症高齢者等の家族の会」に情報提供(区地域支えあい課) 等
	(2) 実施計画の変更	当初の計画を変更する場合は、実施計画の変更通知書を提出 (原則40日前までに「実施計画の変更通知書」を老施連事務局経由で高齢福祉課へ提出してください。また、各区地域支えあい課にも変更があった旨を必ず連絡してください。)
	(3) 公民館の使用申請	公民館の使用について、事前に公民館と日程調整を行った後、「公民館使用承認申請書(事務連絡票)」を高齢福祉課へ提出(各施設から「公民館使用承認申請書(事務連絡票)」が提出された後、高齢福祉課から公民館に使用承認申請書を提出します。)
3 事業終了	実施状況報告	実施状況報告書提出 (各回の事業終了後、実施状況報告書を作成し、他の必要書類やアンケートとともに老施連事務局を經由し、高齢福祉課へ提出してください。)

2 留意事項

(1) 共通事項

ア 過去の参加実績やニーズを踏まえて、テーマを設定してください。

イ 各区地域支えあい課、地域包括支援センター、社会福祉協議会等の地域団体と連携して広報してください。なお、広報に当たりイラスト等を使用する場合は、著作権に留意の上、適切に行ってください。

ウ 家族介護教室事業は、「高齢者いきいき活動ポイント事業」のポイント付与の対象となりますので、参加者がポイント手帳を持参された場合、スタンプ（1ポイント）を押印していただくようお願いします。

なお、スタンプは、開催日の前日までに郵送しますので適切に管理していただき、開催後は、返信用封筒に封入し広島市健康福祉局高齢福祉課へ速やかに郵送してください。

エ 実施計画に係る変更通知書の提出は、保険への加入と参加者への周知を考慮し、原則40日前までとしています。しかし、新型コロナウイルス感染症等の影響でやむを得ず開催日を変更する場合は、広報を十分に図ることができるのであれば、開催日の1週間前までの提出を可能とします。

(2) 家族介護教室

ア 良品計画による「出張まちの保健室」（無料）を御活用ください。

イ 1回当たりの実施時間は原則1時間以上です。開催テーマに沿った時間設定を行ってください。

ウ 参加者に、地域包括支援センターのチラシと高齢者のためのサービスのチラシ（別添）を配布してください。

エ 参加者に対するアンケート調査に御協力ください。

(3) 家族介護者交流会

ア 1回当たりの参加人数に制限はありません。

イ 参加費として1人1,000円を徴収してください。参加者1人当たりの食糧費及び入場料等の経費は、参加費1,000円を含む3,500円が上限です。

ウ 事故等があった場合の利用者の損害を補償する保険に加入してください。

広島市

(使用する公民館名)

公民館使用承認申請書(事務連絡票)

(申請先)

公益財団法人広島市文化財団理

記入例

次のとおり使用を申請します。
使用に際しては、広島市公民館条例、同条例施行規則及びこれらに基づく指示に従います。

担当施設から高齢福祉課への提出日

申請年月日		令和6年 月 日	
申請団体		申請者(代表者)	
名称 広島市健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課		氏名 担当者名	
団体又は申請者の住所 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号		連絡先(この使用申請に関わる問い合わせ先)	
		電話番号 (担当施設の連絡先) 〇〇〇-〇〇〇〇	氏名(申請者と異なる場合) (担当施設) 特別養護老人ホーム〇〇〇 担当者 〇〇 〇〇
使用日時	室名	使用予定人数	使用料
令和6年8月8日(木曜日) 9時30分～12時30分	第一会議室	30人	円
令和 年 月 日(曜日) 時 分～時 分		人	円
令和 年 月 日(曜日) 時 分～時 分		人	円
令和 年 月 日(曜日) 時 分～時 分		人	円
令和 年 月 日(曜日) 時 分～時 分		人	円
使用目的(事業名及び内容) 広島市家族介護教室事業の実施		使用料の合計 円	
		入場料徴収の有無 有 無	

の欄に記入してください。

※ この様式は、老施連事務局から各施設にEメールで送付します。

使用承認番号 (変更前・関連 No.)	使用承認年月日 (変更前・関連 令和 年 月 日)
-------------------------	------------------------------

係		館長
---	--	----

仕 様 書

1 業務名

広島市家族介護教室事業

2 業務の内容

広島市家族介護教室事業実施要綱第4条に規定する家族介護教室及び家族介護者交流会の実施に係る業務

3 実施場所

広島市全域

4 委託期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

5 対象者

市内に住所を有する高齢者を現に介護している、市内に住所を有する家族とする。ただし、家族介護教室については、必要に応じて近隣援助者の参加を認める。

6 実施方法

- (1) 事業は区を単位として、原則区ごとに年5回以上実施する。また、家族介護者交流会として、原則区ごとに年1回、日帰りの旅行などを実施する。
- (2) 事業の計画に当たっては、各区地域支えあい課と協議した上で、地域の実態に応じた実施方法・内容で行う。
- (3) 事業の広報に当たっては、「広島市家族介護教室事業」により行うものであることを明示することとし、各区地域支えあい課、地域包括支援センター、社会福祉協議会及びその他の地域団体と連携して、広く事業内容について周知する。
- (4) 家族介護教室1回当たりの実施時間は原則1時間以上とし、事業の開催場所は、介護保険施設、公民館等、事業が適切に行われ、利用者が参加しやすい場所とする。
- (5) 家族介護者交流会については、実施日の30日前までに市に計画書を提出し、市長の承認を得ることとする。
- (6) 受注者は、家族介護者交流会の参加費として、1人当たり1,000円を家族介護者交流会参加者から徴収する。
- (7) 家族介護者交流会に係る委託料のうち、食糧費及び入場料等経費は、上記(6)の参加費とは別に参加者1人当たり2,500円を上限とする。なお、交通費及び会場の借上代等の家族介護者交流会の運営に必要な経費については、別途委託料の範囲内で支払うものとする。
- (8) 受注者は、委託業務に係る経費について、帳簿を整備し、収入支出の額を記載し、その出納を明らかにしておくこと。
- (9) 家族介護教室及び家族介護者交流会の実施に当たっては、事故等があった場合の利用者の損害を補償する保険に加入する。
- (10) 事業の実施に際して、在宅介護等に関する相談があった場合には、適切に対応するとともに、必要に応じて各区地域支えあい課及び地域包括支援センター等へつなぎ、支援の継続性の確保に努める。

広島市家族介護教室事業実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、広島市家族介護教室事業（家族介護教室及び家族介護者交流会をいい、以下「事業」という。）を実施することにより、高齢者を介護している家族の身体的及び精神的負担の軽減を図り、もって要援護高齢者の在宅生活の継続及び質の向上を図ることを目的とする。

(実施方法)

第2条 事業は、適切な事業運営が確保できると認められる者に委託して実施する。

(利用対象者)

第3条 事業の利用対象者は、原則として、市内に住所を有する高齢者を現に介護している当該高齢者の家族で、市内に住所を有するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、家族介護教室については、必要に応じて、高齢者を介護している者（以下「介護者」という。）を支援する者を利用対象者としてすることができる。

(事業内容)

第4条 家族介護教室の内容は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 高齢者の介護に関する知識・技術の習得に関すること。
- (2) 要介護状態の悪化防止に関すること。
- (3) 介護者の健康管理に関すること。
- (4) その他、高齢者の介護に関する制度、サービスの利用等に関すること。

2 家族介護者交流会の内容は、次に掲げるとおりとし、日帰りの旅行等を通じて実施するものとする。

- (1) 介護者相互の交流及び情報交換に関すること。
- (2) 介護方法に関する相談・指導に関すること。
- (3) その他、介護者の心身の元気回復（リフレッシュ）に関すること。

(事業の実施)

第5条 事業は、区を単位として実施するものとする。

2 事業の委託を受けた者（以下「事業受託者」という。）は、各区役所厚生部地域支えあい課、地域包括支援センター等の地域の関係機関等と連携し、地域の実情に応じた方法で事業を実施するものとする。

(事業実施計画書の作成等)

第6条 事業受託者は、事業の実施に当たり、年間の事業実施計画書を作成して市長に提出し、その承認を得なければならない。これを変更しようとする場合も同様とする。

2 市長は、前項の事業実施計画書の提出を受けたときは、その内容を審査し、必要があると認めるときは、当該事業実施計画書の内容の変更を指示することができる。

(実施状況の報告)

第7条 事業受託者は、事業の実施状況に関し、四半期ごとに事業実施状況報告書を作成し、各四半期の終了日から10日以内（第4四半期にあつては、3月末日まで）に市長に提出するものとする。

(経費の支出)

第8条 市長は、事業受託者に対し、予算の範囲内で委託業務に要する経費を支出するものとする。

(委任規定)

第9条 この要綱に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は、健康福祉局長が定める。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

家族介護教室実施状況

資料5

区分	令和4年度											令和5年度																				
	家族介護教室											小計	家族介護者交流会	計																		
	家族介護教室																															
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	11回目																					
中	17	8	4	17	9							55																	81	17	98	
東	16	27	0	25								68																	105		105	
南	5	13	7	6	6							37																	61	26	87	
西	17	4	14	12	4							51																	63	44	107	
安佐南	13	20	13	15	1							62								5	13	12	18	10	17	16				91	36	127
安佐北	8	20	5	13	7							53								20	21	18	7	13						79	41	120
安芸	3	10	10	17								40							4	19	11	7	7							48	35	83
佐伯	4	19	13	10								46							11	19	18	20	10							78	31	109
計	83	121	66	115	27	0	0	0	0	0	0	412	0						116	141	94	101	100	38	16	0	0	0	0	606	230	836

家族介護教室事業参加者アンケート結果（家族介護教室）

[実施期間：R5.8～R6.3 アンケート回収数：556人]

◎ 家族介護教室へのご参加について

問1 今回で介護教室への参加は何回目ですか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|---------|--------------|
| ① 初めて | 399人 (73.9%) |
| ② 2回目 | 64人 (11.9%) |
| ③ 3回目 | 29人 (5.4%) |
| ④ 4回目 | 9人 (1.7%) |
| ⑤ 5回目以上 | 39人 (7.2%) |

問2 介護教室の開催を何で知りましたか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|----------------------|--------------|
| ① 市の広報紙（市民と市政） | 67人 (12.7%) |
| ② ホームページ | 9人 (1.7%) |
| ③ 施設から紹介された | 215人 (40.9%) |
| ④ 人から聞いた
[チラシを見た] | 86人 (16.3%) |
| ⑤ 区役所で配布 | 7人 (1.3%) |
| ⑥ 地域包括支援センターで配布 | 51人 (9.7%) |
| ⑦ 開催する施設で配布 | 43人 (8.2%) |
| ⑧ その他 | 48人 (9.1%) |

【その他の内訳】

自らが所属している団体を通じて知った 等

◎ 現在のあなたの状況について

問3 あなたの年齢を教えてください。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|---------|--------------|
| ① 29歳以下 | 9人 (1.6%) |
| ② 30歳代 | 8人 (1.4%) |
| ③ 40歳代 | 20人 (3.6%) |
| ④ 50歳代 | 23人 (4.2%) |
| ⑤ 60歳代 | 67人 (12.1%) |
| ⑥ 70歳代 | 212人 (38.4%) |
| ⑦ 80歳以上 | 213人 (38.6%) |

問4 あなたの性別を教えてください。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|------|--------------|
| ① 男性 | 95人 (17.6%) |
| ② 女性 | 445人 (82.4%) |

◎ 家族介護教室（介護教室・介護者交流会）について

問5 今回の「家族介護教室」はいかがでしたか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|----------|--------------|
| ① 良かった | 483人 (89.9%) |
| ② 普通 | 50人 (9.3%) |
| ③ 良くなかった | 4人 (0.7%) |

問6 今後、どのような内容を実施してほしいですか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 介護方法や介護技術 | 132人 (30.5%) |
| ② 介護者の健康管理 | 105人 (24.2%) |
| ③ 介護食や栄養改善 | 83人 (19.2%) |
| ④ 介護に関する制度 | 92人 (21.2%) |
| ⑤ その他 | 21人 (4.8%) |

家族介護教室事業参加者アンケート結果（家族介護者交流会）

〔実施期間：R5.10～R6.2 アンケート回収数：161人〕

◎ 家族介護教室へのご参加について

問1 今回で介護教室への参加は何回目ですか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|---------|-------------|
| ① 初めて | 121人（76.1%） |
| ② 2回目 | 12人（7.5%） |
| ③ 3回目 | 8人（5.0%） |
| ④ 4回目 | 5人（3.1%） |
| ⑤ 5回目以上 | 13人（8.2%） |

問2 介護教室の開催を何で知りましたか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|----------------------|-------------|
| ① 市の広報紙（市民と市政） | 3人（1.9%） |
| ② ホームページ | 0人（0.0%） |
| ③ 施設から紹介された | 102人（64.2%） |
| ④ 人から聞いた
[チラシを見た] | 24人（15.1%） |
| ⑤ 区役所で配布 | 0人（0.0%） |
| ⑥ 地域包括支援センターで配布 | 8人（5.0%） |
| ⑦ 開催する施設で配布 | 7人（4.4%） |
| ⑧ その他 | 15人（9.4%） |

【その他の内訳】

社会福祉協議会から案内された 等

◎ 現在のあなたの状況について

問3 あなたの年齢を教えてください。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|---------|------------|
| ① 29歳以下 | 0人（0.0%） |
| ② 30歳代 | 2人（1.2%） |
| ③ 40歳代 | 8人（5.0%） |
| ④ 50歳代 | 16人（9.9%） |
| ⑤ 60歳代 | 21人（13.0%） |
| ⑥ 70歳代 | 64人（39.8%） |
| ⑦ 80歳以上 | 50人（31.1%） |

問4 あなたの性別を教えてください。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|------|-------------|
| ① 男性 | 23人（14.4%） |
| ② 女性 | 137人（85.6%） |

◎ 家族介護教室（介護教室・介護者交流会）について

問5 今回の「家族介護教室」はいかがでしたか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|----------|-------------|
| ① 良かった | 143人（91.7%） |
| ② 普通 | 12人（7.7%） |
| ③ 良くなかった | 1人（0.6%） |

問6 今後、どのような内容を実施してほしいですか。（該当する番号1つに○を）

- | | |
|-------------|------------|
| ① 介護方法や介護技術 | 41人（33.1%） |
| ② 介護者の健康管理 | 39人（31.5%） |
| ③ 介護食や栄養改善 | 15人（12.1%） |
| ④ 介護に関する制度 | 21人（16.9%） |
| ⑤ その他 | 8人（6.5%） |

(区)
月 日实施分

(問い合わせ先：広島市健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課 電話 082-504-2145 FAX082-504-2136)

令和6年 月 日

各 公 民 館 長 様

広島市健康福祉局
高齢福祉部高齢福祉課長

広島市家族介護教室事業に係る公民館の使用について（依頼）

本市では、高齢者を介護している家族の身体的・精神的負担の軽減を図り、もって要援護高齢者の在宅生活の継続及び質の向上を図ることを目的とし、家族介護教室事業を実施しています。

今年度も引き続き、公益社団法人広島市老人福祉施設連盟（以下「老施連」といいます。）に委託して区ごとに実施し、開催場所として、地域の老人福祉施設を始め公民館や集会所等を使用する予定です。

その際には、老施連加盟の施設職員が事前に各公民館へ御連絡させていただきますので、御対応くださいますようお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延状況により、開催予定日に実施できない場合は延期とし、年度内に開催できるよう日程を再調整することとしていますので御承知置きください。

各公民館におかれましては、家族介護教室の実施に御理解・御協力をくださいますようお願いいたします。

【家族介護教室事業】

- 概要 高齢者を介護している家族等が介護に関する知識や技術、介護者の健康管理等について学ぶための介護教室を開催
- 対象者 高齢者を介護している家族や近隣の援助者等
- 費用 無料
- 実施回数 各区で原則年間5回以上

※ 公民館の使用承認申請書は、高齢福祉課から各公民館に提出します。また、より多くの方に家族介護教室の開催を周知できるよう、公民館との共催の際には、「公民館だより」等への掲載についても御協力くださいますようお願いいたします。

健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課
担当 町本
電話 504-2145 / FAX 504-2136
E-mail: korei@city.hiroshima.lg.jp

令和6年度広島市家族介護教室事業 担当者一覧表

区 分	各区地域支えあい課 担当者	電 話 番 号	老 施 連 担 当 者 (施設名・役職・氏名)	電 話 番 号
中 区	崎井主事	504-2586		
東 区	吉村保健師	568-7731		
南 区	山下主事	250-4109		
西 区	西田保健師	294-6289		
安 佐 南 区	富田保健師	831-4568		
安 佐 北 区	永原保健師	819-0587		
安 芸 区	田中保健師	821-2810		
佐 伯 区	柿田保健師	943-9728		

- 健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課
主担当 町本 (電話番号 504-2145)

広島市からのお知らせ

ご利用ください 高齢者のためのサービス



広島市では、高齢者一人一人が、健康で、その能力を発揮し、生きがいを感じ、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、介護保険サービスのほかにも、いろいろなサービスを行っています。

◎ 広島市にお住まいの人を対象としています。

◎ 世帯員の判断は、住民票の世帯ではなく、居住の実態で行います。

※ 各サービスの対象者や要件について、ご不明な点はお問い合わせください。

配食サービス

昼食または夕食を配達し、安否確認をします。

【対象者】

①②ともに該当する人

① おおむね65歳以上の人（またはこれに準ずる世帯（※1））に属する

② 虚弱で調理が困難（※2）

【本人負担額】 1食514円 ほか

※1 これに準ずる世帯とは、「長時間高齢者のみとなる世帯」、「高齢者と障害者からなる世帯」、「高齢者と18歳未満の子からなる世帯」のいずれかです。

※2 原則として週5日以上の利用が必要です。介護保険の通所介護、訪問介護等を利用している場合は週3日以上であれば利用可能です。

介護用品の支給

1か月あたり6,500円を限度に、紙おむつ、尿とりパッド、介護用シーツ、おしりふき、使い捨て手袋を現物支給します。

【対象者】

①②ともに該当する人またはその人を介護している市内在住の家族

① 在宅で生活し、要介護4・5と認定されている

② 生活保護等を受けている
または市民税非課税世帯に属している

家族介護教室の開催

介護に関する知識や技術、介護者の健康管理などを学びます。また、介護している家族のリフレッシュや介護者同士の交流を図るために、家族介護者交流会を開催します。

【対象者と参加費】

区 分	対象者	参加費
家族介護教室	高齢者を介護している家族と支援者	無 料
家族介護者交流会	高齢者を介護している家族	1,000円

あんしん電話の設置

急病などの緊急時に、通報機器のボタンを押すと、電話相談センターが受信し、協力員や消防局に事態を知らせ、必要時には利用者宅へ駆けつけます。

また、健康や困りごとなどの相談に応じ、定期的に声かけも行います。

【対象者】

病弱などのために日常生活上注意が必要なおおむね65歳以上（病弱な高齢者）で、次のいずれかの世帯に属する人

① ひとり暮らし

② 病弱な高齢者、18歳以上の身体障害者（障害等級1級・2級）、知的障害者（療育手帳A・A）または精神障害者（精神保健福祉手帳1級）のみの世帯

【利用条件】

協力員の登録（原則2名）

【利用料】

● 固定電話型（既存の電話回線に併設）

区 分	負担月額
市民税課税世帯の人	1,683円
市民税非課税世帯の人	169円
生活保護受給世帯等の人	無 料

● 携帯電話型（専用の携帯電話を貸与）

区 分	負担月額
市民税課税世帯の人	2,233円
市民税非課税世帯の人	224円
生活保護受給世帯等の人	無 料

家族介護慰労金の支給

在宅で、常時介護を必要としている高齢者等を、介護保険サービスを受けずに介護している家族に慰労金を支給します。

【対象者】

①～③すべてに該当する人を、在宅で介護している家族

① 市民税非課税世帯に属している

② 1年間継続して、要介護4・5と認定されているか、同等と認められる

③ 1年間継続して、介護保険サービスを利用していない

【支給額】 10万円

在宅生活継続支援事業

【内容】

自宅への訪問やお電話により介護の方法やお悩みについて助言などを行い、在宅生活を続けるための手助けをします。



【対象者】

市内在住の在宅で生活する高齢者等の世話をする家族など

【場所】

7か所の特別養護老人ホームで実施しています。

区名	施設名	電話	ファクス
中	悠悠タウン江波	296-4880	296-4818
東	ふくだの里	899-5088	899-5285
南	ひうな荘	256-1001	256-1008
西	三滝苑	237-8811	237-8813
安佐南	未定	—	—
安佐北	なごみの郷	841-1335	841-1336
安芸	くにくさ苑	856-0222	856-0115
佐伯	鈴が峰	943-8888	943-7788

支援内容については、上表各施設へお問い合わせください。

住宅改修費の補助

【内容】

高齢者のお住まいのバリアフリー改修費用を補助します。



【対象者】

市内在住で、①～③すべてに該当する人

① 要介護・要支援認定を受けているか、加齢が原因とされる特定疾病により生活保護法の介護扶助の受給資格がある等

② 改修工事の着工前に申請している

③ 生計中心者の市民税所得割額が年額9万円以下

【補助額】

補助対象費用(60万円が上限)に次の補助率を乗じた額(千円未満の額は切り捨て)

区分	補助率
生活保護受給世帯等の人	5/5
生計中心者の市民税が非課税となる世帯に属する人	3/5
生計中心者の市民税所得割額が年額9万円以下の世帯に属する人	2/5

【お問合せ先：お住まいの区の福祉課】

(家族介護教室の開催、在宅生活継続支援事業及び生活指導短期宿泊事業については地域支えあい課)

区名等	電話	ファクス	区名等	電話	ファクス
中	福祉課	504-2570	安佐南	福祉課	831-4941
	地域支えあい課	504-2586		地域支えあい課	831-4568
東	福祉課	568-7730	安佐北	福祉課	819-0585
	地域支えあい課	568-7731		地域支えあい課	819-0587
南	福祉課	250-4107	安芸	福祉課	821-2808
	地域支えあい課	250-4109		地域支えあい課	821-2810
西	福祉課	294-6218	佐伯	福祉課	943-9729
	地域支えあい課	294-6289		地域支えあい課	943-9728

生活指導短期宿泊事業

短期間宿泊して、生活習慣などの指導を受けることにより、要介護状態への進行を予防します。

【対象者】

①～③すべてに該当する人

① 65歳以上

② 要介護・要支援認定を受けていない

③ 身体上または精神上の障害により、日常生活を営むのに支障がある



【利用料(1日あたり)】

1,130円

(生活保護受給世帯等 300円)

自動消火器、電磁調理器(卓上)の給付

【対象者】

要介護・要支援認定を受けているか、加齢が原因とされる特定疾病により生活保護法の介護扶助等の受給資格があり、

① 自動消火器

⇒ 寝たきりまたはひとり暮らしの高齢者等

② 電磁調理器

⇒ 出火への配慮が必要な、ひとり暮らしまたは高齢者等のみの世帯

【利用者負担額】

生計中心者の課税状況等	自動消火器	卓上電磁調理器
生活保護等、市民税非課税	0円	0円
市民税所得割額 年額8千円以下	16,300円 (16,300円)	11,000円
市民税所得割額 年額8千円超2万円以下	28,400円 (28,400円)	
市民税所得割額 年額2万円超5万円以下	42,800円 (42,800円)	
市民税所得割額 年額5万円超9万円以下	44,000円 (52,400円)	
市民税所得割額 年額9万円超	44,000円 (53,900円)	

自動消火器欄の()内は、既に給付した機器が耐用年数を経過し、再給付を受ける場合の負担額。



地域包括支援センターを積極的にご利用ください

広島市では、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、保健・福祉など様々な面から地域での生活を総合的に支える中核機関として、地域包括支援センターを社会福祉法人や医療法人等に委託して設置運営しています。

地域包括支援センターでは、専門の職員（保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等）が連携して、介護予防をはじめ、保健・福祉などさまざまな相談・支援を行っています。

具体的な業務



1 介護予防の相談、サービスの利用調整

生活機能に関するチェックリスト（基本チェックリスト）の結果、生活機能の低下がみられる方や、要介護認定で「要支援1・2」と認定された方に、介護予防ケアプランをつくり、介護予防につながるサービスの利用に向けた支援を行います。

・いつまでも自立した生活を送りたい

また、高齢者の皆さんの介護予防につながる介護予防教室等を開催したり、気軽に通える身近な場所で住民運営の運動を中心とした活動を週1回以上実施する「地域介護予防拠点」づくりを支援します。

・地域で「いきいき百歳体操」に取り組みたい

・ひとり暮らしが不安

・足腰が弱った
・食欲がなく体力が落ちた
・何をしてもおっくうで、やる気が出ない



2 保健・福祉全般に関する相談

高齢者の皆さんやその家族、地域の方などから、さまざまな相談を受けます。また、地域で見守り支え合うネットワークづくり（地域の方が主体となった見守り・支え合いの組織づくり）を支援しています。

健康の不安や介護の相談、認知症に関することなど、保健や福祉に関することは、何でもお気軽にご相談ください。

・認知症について知りたい

♥認知症の人とその家族にやさしい地域づくり♥

認知症の人が症状・容態に応じた適切な支援につながるよう支援するとともに、認知症サポーター養成講座等の開催や認知症カフェの支援など、認知症の人とその家族にやさしい地域づくりを支援します。

3 権利擁護、虐待の早期発見・防止

高齢者虐待の早期発見と防止、成年後見制度の活用を支援するなど、関係機関と連携して対応し高齢者の皆さんのさまざまな権利を守ります。

・もしかして虐待では？虐待につながらないかしら？
例）よく怒鳴り声が聞こえる
ひとりで介護を抱えて悩んでいるのでは？
・消費者被害にあっているのでは？

4 包括的・継続的ケアマネジメント

地域の社会資源を活用したケアマネジメント体制が構築できるよう、地域のケアマネジャーの支援や関係機関とのネットワークづくり、在宅医療・介護連携を推進しています。





広島市の地域包括支援センター

相談受付時間：原則 年末年始、祝日を除く月曜日から金曜日
8時30分～17時15分
※緊急時の電話相談は、24時間受け付けます。

相談は、電話やセンター
窓口、家庭訪問等
でお受けします。



担当区域 (おおむね中学校 区)		名称 ※「広島市」は省略	事 務 所 (令和6年4月1日現在)		
			住 所	TEL	FAX
中区	1 幟町(基町小学校区)	基町地域包括支援センター	基町19-2-425	502-7955	502-7966
	2 幟町(基町小学校区除く)	幟町地域包括支援センター	東白島町13-26	222-6608	222-6609
	3 国泰寺	国泰寺地域包括支援センター	昭和町12-2	249-0600	544-1456
	4 吉島	吉島地域包括支援センター	光南1-4-6	545-1123	545-1124
	5 江波	江波地域包括支援センター	江波二本松2-6-27	296-4833	533-7100
東区	1 福木・温品	福木・温品地域包括支援センター	上温品1-11-27-101	280-2330	562-2333
	2 戸坂	戸坂地域包括支援センター	戸坂中町2-29	516-0051	516-0052
	3 牛田・早稲田	牛田・早稲田地域包括支援センター	牛田本町5-1-2 7階	228-2033	221-7675
	4 二葉	二葉地域包括支援センター	若草町10-14はらだビル2階	263-3864	263-3870
南区	1 大州	大州地域包括支援センター	大州1-1-26	581-6025	581-6026
	2 段原	段原地域包括支援センター	段原南1-3-52 広島段原ショッピングセンター2階	261-8588	261-8688
	3 翠町	翠町地域包括支援センター	出汐2-3-46	252-5500	252-5530
	4 仁保・楠那	仁保・楠那地域包括支援センター	東本浦町26-8たおビル2階	286-6112	298-2234
	5 宇品・似島	宇品・似島地域包括支援センター	宇品神田3-7-15坂本ビル2階	252-6456	252-6458
西区	1 中広	中広地域包括支援センター	三篠町1-8-21 2階	509-0288	230-8190
	2 観音	観音地域包括支援センター	観音町16-19 3階	292-3582	292-3172
	3 己斐・己斐上	己斐・己斐上地域包括支援センター	己斐本町2-7-13	275-0087	275-0070
	4 古田	古田地域包括支援センター	古江東町5-3-104	272-5173	272-5186
	5 庚午	庚午地域包括支援センター	草津東2-8-5	507-1210	271-3410
	6 井口台・井口	井口台・井口地域包括支援センター	井口2-5-19	501-6681	276-5541
安佐南区	1 城山北・城南	城山北・城南地域包括支援センター	緑井6-37-5-102	831-1157	876-1096
	2 安佐・安佐南	安佐・安佐南地域包括支援センター	中須2-19-6 3階	879-1876	879-7764
	3 高取北・安西	高取北・安西地域包括支援センター	高取北1-17-41	878-9401	847-1475
	4 東原・祇園東	東原・祇園東地域包括支援センター	東原3-14-4	850-2220	850-1107
	5 祇園・長束	祇園・長束地域包括支援センター	山本1-4-25	875-0511	875-0513
	6 戸山・伴・大塚	戸山・伴・大塚地域包括支援センター	伴中央2-5-12	849-5860	849-5861
安佐北区	1 白木	白木地域包括支援センター	白木町小越218-2	828-3361	828-7188
	2 高陽・亀崎・落合	高陽・亀崎・落合地域包括支援センター	亀崎1-1-6 フジグラン高陽2階	841-5533	845-8811
	3 口田	口田地域包括支援センター	口田南7-11-22	842-8818	842-8835
	4 三入・可部	三入・可部地域包括支援センター	三入5-16-31	516-6611	516-6681
	5 亀山	亀山地域包括支援センター	亀山4-2-36	819-0771	814-0501
	6 清和・日浦	清和・日浦地域包括支援センター	あさひが丘3-18-13-7-101	810-4688	810-4185
安芸区	1 瀬野川東 (中野東小学校区含む)	瀬野川東地域包括支援センター	瀬野2-17-33	820-3711	554-5021
	2 瀬野川(中野東 小学校区を除く)・船越	瀬野川・船越地域包括支援センター	中野2-15-7	893-1839	893-1866
	3 阿戸・矢野	阿戸・矢野地域包括支援センター // (阿戸連絡所)	矢野東6-23-15 阿戸町418-1	889-6605 856-0613	889-5666 856-0115
佐伯区	1 湯来・砂谷	湯来・砂谷地域包括支援センター	湯来町白砂82-4	(0829)86-1241	(0829)86-1242
	2 五月が丘(石内小学校区 除く)・美鈴が丘	五月が丘・美鈴が丘地域包括支援センター	美鈴が丘西1-3-9	208-5017	208-5018
	3 三和(石内小学校区全域含む)	三和地域包括支援センター	五日市町石内6405-1	926-0025	929-0200
	4 城山・五日市観音	城山・五日市観音地域包括支援センター	千同1-30-6	924-7755	924-7761
	5 五日市	五日市地域包括支援センター	五日市中央2-4-40	924-0053	921-2865
	6 五日市南	五日市南地域包括支援センター	楽々園4-2-19-101	924-8051	924-8052